

令和7年7月8日

御嵩町新庁舎等整備事業
プロポーザル評価委員会

審査講評

はじめに総評として、御嵩町の新庁舎建設に係るこれまでの経緯や抱える課題、本事業の特性を十分に理解し、全国的な建設コストが急激に上昇している環境のもとで、提案上限金額内で提案されたことは大いに評価したい。また、本事業に対する熱意も十分に伝わり、いずれの評価項目においても優れた提案であった。なお、各項目に関する評価については、下記に列記する。

- ・DBO方式による事業の特性を活かし、設計企業、建設企業及び維持管理企業の連携が図られ、ICT技術や自社製鋼工場の活用などによる大幅な工期の短縮が計画される点については高く評価される。また、庁舎開庁後も建物の不具合が発生した場合の体制を整えている点も高く評価される。
- ・防災広場②に関し、回廊の整備やステージの設置など、にぎわいの創出について十分に検討され、様々な活用方法が期待できる点は高く評価される。
- ・庁舎南側及び庁舎西側の配置計画や区分変更可能な会議室等に関し、利便性が高く、民間商業施設の参画も検討されている点については高く評価される。
- ・日常から庁舎を利用するきっかけや仕組みづくりに関し、子ども目線も取り入れながら十分に検討されている。
- ・地元企業への配慮に関し、本事業への連携及び協力する意向を表明する関心表明書を多数取得しており、地域経済への貢献について十分に検討されている。
- ・配置計画については十分に検討されている。なお、車両の動線や夜間の町民・職員それぞれの動線、サイン計画等について、今後御嵩町と協議の上設計を進めること。
- ・庁舎を交通拠点として位置づけしていく可能性を踏まえ、町内循環バスの停留所や待合スペース等について、今後御嵩町と協議の上設計を進めること。
- ・駐車場から庁舎への動線に関し、町産木材を活用したキャノピーを整備する提案については、雨天時の利用者に対する配慮もあり高く評価される。一方で、経年劣化及び維持管理に対する懸念もあるため、構造等について、今後御嵩町と協議の上設計を進めること。
- ・庁舎北側及び諸室の配置や活用方法等に関し、職員の働き方の観点も踏まえ、今後御嵩町と協議の上設計を進めること。
- ・議場に関し、議場を2階に配置し2階建てとする複案がある点を踏まえ、町民の理解が得られるよう閉会時の運用方法を含め、今後御嵩町と協議の上設計を進めること。
- ・太陽光パネルの設置に関し、建物の意匠性との整合を図りながら設置位置について、今後御嵩町と協議の上設計を進めること。

最後に、本件プロポーザルに参加され、貴重な時間を費やして真摯に努力いただいた関係各者に心より敬意を表すとともに、感謝いたします。